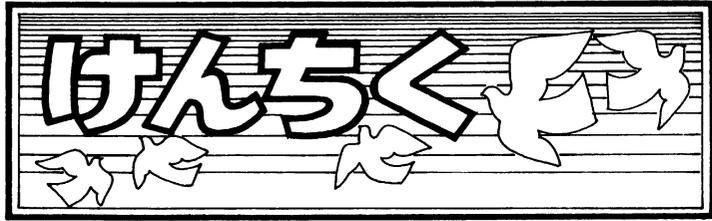


年始の駅頭宣伝・署名行動予定

1月9日(木) 17:30~九条宣伝
1月24日(金) 17:30~消費税宣伝

年始も楽しく宣伝♪



購読料は組合費に含めて毎月徴収	東京土建一般労働組合
	西南合同支部
	渋谷区幡ヶ谷2-18-6
	渋谷 6304-2315
	世田谷 3413-3020
	目黒 3719-2741
発行者 伊藤 勝伸	
定価 1部 30円	

11・21予算要求集会

現行水準を確保



パレードの先頭を歩く支部四役

建設国保への補助金を確保に向けて、仲間の声を届けようと11月21日に予算要求集会を開いた。午前中の東京都保健医療局交渉は、要請書と都議賛同署名(累計118人分)を提出。医療費等相当分については、被保険者数を減、一人あたり医療を増と見込み、44億3800万円と、現行水準確保の到達を築くことができた。特定健診等については受診者数の減少を見込み2024年度予算比500万円減の9200万円です。国保料金を抑えるために、受診要請文を受け取る山添拓参議員向率を上げる取り組みが重要だ。財務当局への要求額は、総額で45億3000万円とになりました。現行水準を確保できたことは多くの仲間がハガキ要請などに取り組んだ結果です。ご協力ありがとうございました。

午後、日比谷野外音楽堂にて全建総連日比谷野音中央総決起大会を開催。47県連および2000人(東京土建は800人近く、支部からは21人参加)が参加した。集会后は銀座までパレードを行いました。社保対部(K・I)がた。社保対部(K・I)がた。社保対部(K・I)がた。

結果し、大幅な賃金・単価引き上げ、建設国保育成・強化の予算要求実現で仕事と暮らしを守ろうと決意を固めました。集会后は銀座までパレードを行いました。社保対部(K・I)がた。社保対部(K・I)がた。社保対部(K・I)がた。



今だから労働組合



今大会で就任した新役員

数は力、地域との共闘を

11月29日(金)新宿駅でパレスチナに連帯するラッピングデモが開催され、支部から5人が参加、4つの出口全てにパレスチナの旗や連帯のメッセージが翻りました。

昨年10月の攻撃からガザでは4万4千人が死亡。うち7割が子どもと女性だ。今もガザの200万人が飢餓と病気、死の恐怖、絶望にさらされている、市民を無差別に狙う空爆はジェノサイドそのものだ。

国連が機能不全のイスラエルを支援する。刑事裁判所(所長に就任した赤根智子氏はプーチンやネタニヤフに逮捕状を出し、ロシアや米国から圧力を受け「危険を感じるが正義を追求し、残虐行為の被害者の尊厳と権利を擁護し続ける」と述べた。

11月16日(土)に東京土建目黒会館で、目黒地区労働組合協議会の第73回定期大会が開かれました。

吉得文乃さん(目黒区職労)が議長に選出され進行をさせていただきました。来賓あいさつでは、東京地評・事務局次長、阿久津光氏より「今の時代だからこそ、労働組合の力は非常に大切であること。課題は多いかもしれないが、皆さんと一緒に頑張りたい」と力強くお言葉をいただきました。各労組の報告でも、「組合員が減ってきているのは共通事例であり、これをどうしていくかが大きな課題となっている。実例

パレスチナに平和を



思い思いの旗を掲げる

衛省への売り込みをやめるよう川崎重工や住友など4社へ抗議を呼びかけた。スタート、バック、モズ、ココ、KFC、サミット、タバーン、クスマ、クドナルド、KFC、サムイット、トモズ、ココ、カ・コーラも。住まい、食べ物、学校、家族、生命、希望を奪われた子どもをこれ以上見たいらねますか。抗議と消費で停戦を求めよう。(y)

11月16日(土)に東京土建目黒会館で、目黒地区労働組合協議会の第73回定期大会が開かれました。吉得文乃さん(目黒区職労)が議長に選出され進行をさせていただきました。来賓あいさつでは、東京地評・事務局次長、阿久津光氏より「今の時代だからこそ、労働組合の力は非常に大切であること。課題は多いかもしれないが、皆さんと一緒に頑張りたい」と力強くお言葉をいただきました。各労組の報告でも、「組合員が減ってきているのは共通事例であり、これをどうしていくかが大きな課題となっている。実例

雑記帳

師走を迎え、今年も残すところわずかとなりました。支部では新任執行委員として新里紹征さん、横林誠さんが加わり、大きく組織強化し、拡大での木曜行動や文化活動にも旺盛に取り組みました。また、秋の会では毎月のようにイベントを行い、クリスマスリースづくりを開催し、大豆トラストやわくわく子ども祭り、住宅デー、地域イベントにも積極的に参加しました。今年4月から区長選挙、6月都議補欠選挙、7月都知事選挙、10月衆議院選挙と続き、選挙看板を広告枠として使用したり、自公が過半数を割ったり、SNSを駆使したり、様々な選挙手法が見られました。保険証廃止によるマイナ保険証の半強制的な加入促進、薬局に行く度に「次からはマイナ保険証にして下さいね」と言われる始末。命の手綱は振り回されています。

2025年は都議会選挙、参議院選挙と続き、大きく情勢が動く年になります。日年らしく一皮剥けて、執念深く、自分が、仲間が、幸せでいられるよう脱皮していきたいと思えます。(N)

